

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-372-5510(白根図書館)

年度	平成28年度		
施設名	新潟市立白根図書館	所管部・課	中央図書館
施設の設置目的	図書館法第10条の規定に基づき、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H28.5.18
歳入	131	正職員	5	修正日	
歳出	22,889	非常勤	5	評価日	H29.5.31

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標					H28結果
1	市民	多様化するニーズに応えるため、必要な資料を収集し、利用の拡大を図ります。	個人への貸出点数(点) (視聴覚資料含む)	167,933	164,053	160,341	161,000	154,475	図書館像「図書館の基本サービス」	・選書会議 ・資料収集、保存、貸出、整理等	図書館利用者の減少により、貸出点数も減少したと考えます。	C:未達成
2	市民	子ども読書活動推進計画に基き事業を実施し、子どもの読書環境の整備を推進します。	小・中学生への貸出冊数(冊) (視聴覚資料は除く)	16,678	14,164	11,433	12,000	12,643	図書館像「学・社・民融合型図書館」 団体貸出は除く	・児童向け事業の実施	読書週間事業など、児童向けの事業に積極的に取り組んだ結果、貸出冊数が増加したと考えます。	B:達成
3	市民	生涯を通じて利用いただける図書館を目指します。	図書館入館者数(人)	162,696	164,816	136,894	138,000	129,847	幅広い年代が利用しやすい図書館環境づくり	・赤ちゃんタイム ・ブックスタート事業 ・読書週間事業	インターネットの普及や地域の人口減少などにより、利用者数が減っていると考えます。	C:未達成
4	市民	市民の身近な課題を解決するためのレファレンス(調査・相談)サービスを充実します。	レファレンス件数(件)	202	170	153	170	574	図書館像「課題解決型図書館」	・オンラインデータベースの運用 ・「農業コーナ」の充実	レファレンスについての広報に積極的に取り組み、利用者に浸透してきたことが増加につながったと考えます。	A:達成(優)
5	市民	市民参画と協働を推進するため、ボランティアと連携協力し事業を実施します。	ボランティア活動延人数(人)	164	179	161	170	201	図書館像「パートナーシップ型図書館」	・読み聞かせ等、団体との協働事業 ・本の補修ボランティア	本の補修ボランティアなどの参加者が増加したことから、活動延人数も増加したと考えます。	B:達成
6	業務	図書館システムの円滑な運用により、利便性の向上を図ります。	予約件数(件)	16,519	17,571	17,160	17,200	18,384	図書館像「課題解決型図書館」 団体予約は除く	・予約等図書館システム機能の利便性PR・普及	レファレンス件数の増加に伴い、所蔵調査から図書の予約へとつながっていることが増加理由と考えます。	B:達成
7	業務	子ども読書活動推進計画に基き事業を実施し、子どもの読書環境の整備を推進します。	学校図書館訪問回数(回)	84	79	81	81	77	図書館像「学・社・民融合型図書館」	・学校図書館支援センター	前年に比べ新任学校司書の人数が少なく、電話相談で解決したこともあり、回数の増加につながりませんでした。	C:未達成
8	人材	職員の職務遂行能力(専門能力・接遇等)の向上を図ります。	専門研修等への派遣及び内部研修受講職員数(人)	35	28	53	53	53	図書館ビジョンで掲げる「効率的・効果的な運営」	・新任、専門研修への積極的な参加と情報共有	専門的能力の向上を目指し、様々な研修への積極的な参加に努めました。	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
新潟市の目指す図書館像と組織目標を基本として目標設定を行い、これまでの指標項目の推移や地域性を加味して指標数値を定めました。 市民ニーズの変化に対応し、新たな取り組みも取り入れ、全体的底上げを行います。	情報媒体の多様化やブックバスの廃止、学校図書館の充実、児童・生徒数の減少もあり、利用が伸び悩んでいます。 今年度からは赤ちゃんタイムの時間拡大や、親子で楽しめる企画、市のホームページを活用した図書館事業のPR、利用しやすい図書館づくりに努めてきました。 今後もボランティアや公民館との連携を図り、窓口サービスの向上、新たな普及啓発や団体貸出を展開し、図書館運営の充実に努めます。